

添付資料あり

令和 7 年 9 月 8 日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所
名古屋城調査研究センター
担当 瀬川、高橋 電話 231-2481

名古屋城二之丸庭園発掘調査の成果について

観光文化交流局名古屋城総合事務所では、名勝名古屋城二之丸庭園の整備に伴う発掘調査を実施しています。令和 7 年度の発掘調査では庭園北西部の建物や水路などの遺構を確認しました。この調査成果の詳細について情報提供いたします。

記

1. 名勝名古屋城二之丸庭園について

- ・二之丸庭園は、初代尾張藩主の徳川義直により造営され、寛永 5（1628）年までには完成しました。
- ・19 世紀の前半に十代藩主徳川斉朝により、回遊式の大名庭園として大きく改変されました。
- ・明治時代になり、二之丸が陸軍の所管になると二之丸御殿は取り払われ、庭園は一部を残して失われ、将校集会所の南には新たな庭園が作庭されました。
- ・昭和 28（1953）年には庭園の姿を残している部分を中心に国の名勝に指定されました。
- ・平成 30（2018）年には庭園全域と二之丸御殿の一部が名勝の追加指定を受けました。

2. 発掘調査の経緯

- ・二之丸庭園の整備にともない、平成 25（2013）年度より、継続的に庭園の発掘調査を実施しています。
- ・令和 7（2025）年度には、庭園北西部の建物群・南蛮練堀の基礎・排水路等の痕跡を確認するために発掘調査を行っています。

3. 主な成果

- ・迎涼閣（げいりょうかく）、土蔵、御文庫（おぶんこ）といった近世の絵図にも描かれている建物の基礎の石を確認しました。それにより建物の位置や規模が推定できます。
- ・江戸時代以降作り替えられながら使われてきた石組の溝が見つかりました。
- ・石垣際に建てられている南蛮練堀の下からも別の練堀の可能性がある基礎が出土しました。

4. 現地説明会の開催

発掘調査の成果を来場者の皆様に公開いたします。報道機関の皆様からの取材についても現地説明会の開催時間内で対応いたします。

- ・日時：令和7（2025）年9月14日（日）10：00～12：00
（雨天中止）
- ・場所：名勝二之丸庭園発掘調査現場
- ・事前申込不要。定員なし（見学者多数の場合は、適宜、整理・誘導を実施します）。名古屋城入場料が必要です。

【記者受付】名古屋城総合事務所2階受付

以上